審判講習会講習会資料

目次

P.I~P.2 2023 年度ルールの取り扱いについて

P.3~P.4 lst レフェリー・2nd レフェリーの責務について

P.5 プロトコールについて

P.6 試合中について

P.7~P.8 試合の中断の要求について

P.9 セット間~次セット開始までについて

P.10~P.13 ラインジャッジについて

P.14~P.17 記録用紙の書き方について

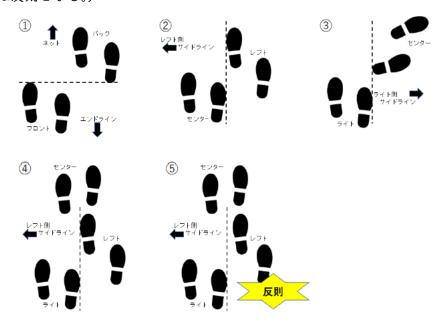
1. チームリーダー (R5)

リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれる。

2. スターティングラインアップ(R7.3) ラインアップシートが提出されたら(実際の運用では両チームのラインアップが スコアシートに記入し終えたら)、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更す ることはできない。ただし、スターティングラインアップの選手が試合前に負傷し た場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することが可能で ある。(この変更は選手交代に含まれない。)

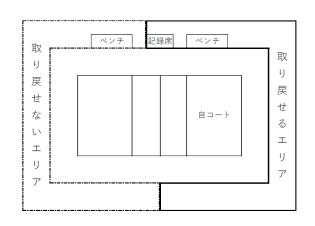
3. ポジションの反則(R7.4.3)

前後・左右の関係で、両足が完全に入れ替わった状態が反則となる。 【反則ではない】 【反則となる】 (左右・・レフトとセンター、ライトとセンター の間には反則はないが、レフトとライトが完全 に入れ替わっていれば反則となる。)



4. ボールをプレーすること(R9)

ボールは,自チーム側のフリーゾ ーン外とその延長線上にあるスコ アラーズテーブル上から取り戻してもよい。スコアラーズテーブルの 後方は、自コートのフリーゾーン外 側と同様に取り戻すことができる。 相手チームについては、フリーゾ ーン外側の垂直面より内側であれ ば、ボールを取り戻すことができる。



5. スクリーン (RI2.5.1~2)

サービスヒットとボールのコースの両方をボールがネット垂直面に到達するまで 隠すことでスクリーンとなる。 サービスヒットまたはボールのコースがレシービングチームに見えるのであれば、 スクリーンではない。

6. 相手空間内でのブロック(RI4.3)

ブロックの反則(R I 4.6.1) 相手チームがアタックヒットを行う前に、ネットを越えてボールに接触 すること は許されない。 相手空間内で、相手のアタックヒットの前にブロッカーがボールに触れた場合は 反則となる。 アタックヒットと同時にブロックの手がボールに触れても反則ではない。

7. 正規の試合中断 (R I 5.2.4)

同じ中断中に要求を拒否された場合や、遅延行為に対する罰則を適用された場合 は、その後に正規の試合中断(タイムアウトや選手交代)は認められない。(次のラ リーが完了すれば認められる。)

8. 退場または失格での選手交代(R15.8)

退場または失格となった選手には、直ちに正規の選手交代が行われなければなら ない。もしもこれが できないときは、チームには例外的な選手交代をする権利があ る。これもできない場合は、チームは不 完全を宣告される。(例外的な選手交代は、 通常の選手交代の回数に含まれない。)

9. 服装(R 19.2) 2人のリベロは他の選手と異なる色で、さらに、お互いに異なる色のユニフォー ムを着用することができる。

その他 ・ペナルティエリア (R1.4.6)

廃止。(退場・失格となった選手,スタッフはチーム控室に行かなければならない) ※ チーム控室がない場合は競技場フロア内から出なければならない。 (例;通路, 観客エリアなど)

・タイムアウト(R I 5.4) テクニカルタイムアウトの条文が削除された。(= テクニカルタイムアウトがなくなった。)

2. Ist レフェリー・2nd レフェリーの責務

各審判役員の役割の重要事項

【Ist レフェリー】

1st レフェリーがラリーを止める場合の手順については、

ホイッスル ➡ 得点サイドを示す ➡ 反則を示すハンドシグナル

➡ (必要があれば反則した選手を指す)

起こりそうな反則を予想して、見ることが大切である。

見ていなかったという状況が起こらないように、先に目を向ける意識を持っておく!! 最終判定を出すときは、必ずラインジャッジと 2nd レフェリーを確認してから判定を出すこと!!

① ハンドリング基準の統一

・・・・特にシングルハンドトスの反則の多くはキャッチの場合が多い!! ボールが回転したからといって可ならずにも反則ではない!!

② サービス許可について

・・・・ サービス許可の前に必ずセッターのポジションを確認する。最低限セッターとその対角は 覚えておく。

両チームがプレーする準備ができていることを確認。 さらに、サーバーがボールを持っていることを確認後、サービス許可のホイッスル

③ 最終判定の出し方

··· ホイッスル後、必要なラインジャッジと 2nd レフェリーを確認後、最終判定を出す。

④ 不法な行為について

・・・ 軽度な不法行為を見逃すことなく、早い段階でステージ | を与える。

【2nd レフェリー】

2nd レフェリーが反則を取る場合の手順については、

ホイッスル ➡ 反則のシグナル ➡ (必要があれば反則した選手を指す)

- ➡ lst レフェリーに合わせてサイドを示す
- ① ポジションの反則について
 - ・・・・ サービスの前に移動したり、明らかにポジションが入れ代わっているのを見逃さない。 常に確認し、反則があれば早い段階で反則とする。

② タッチネットについて

···・選手がネット際でプレーするとき、ボールを目で追わずネット際に目を残し反則が起きていないかを確認する。

③ サービスヒット後について

・・・・サーバーがサービスヒット後、ボールがネット上を通過する際に必ず許容空間を通過しているか を確認する(必ずボールがネット上を通過するところに目を向けること!!)。 もし 2nd レフェリー側の許容空間外を通過したり、アンテナなどに触れた場合には吹笛する。

④ 中断の要求について

・・・・ ワンラリーごとにベンチコントロールを行う。 選手交代・タイムアウトをスムーズに行う。ラリー終了後は、必ず両ベンチを確認し中断の要求がないかを毎回確認する。

⑤ 不法な行為について

··· lst レフェリーが気づかない不法な行為があれば lst レフェリーに伝える。

< M E M O >

3. プロトコールについて

	lst レフェリー	2nd レフェリー	S·AS(記録)
設定時間	記録席前で両チームキャプテン	トスに立ち会い、両チームのコー	両チームのコートと【サーブを打
11 分前	を呼び、トスを行う。	トと【サーブを打つ】権利を得た	つ】権利を得たチームを確認し、
		チームを確認する	記録用紙に記入
	両チームキャプテン、監督に記		
	録用紙の登録選手を確認しても		
	らい、サインをもらう。		
	(監督はプロトコール前でも		
	かまわない)		

【コイントスについて】

トスに勝ったチームは以下の権利から | つ選ぶ。

① 【サーブを打つ権利】 ② 【サーブを受ける権利】 ③ 【コートを選ぶ権利】 トスに負けたチームは相手チームが選んだ権利以外から選ぶ。

【公式練習について】

lst レフェリーはコイントスの際に、公式練習を【合同】か【別々】かをキャプテンに確認する。 (別々の場合)

【サーブを打つ】権利を得たチームから公式練習を始める。

公式練習開始のホイッスルを 1st レフェリーが行う➡3 分後、2nd レフェリーがホイッスル➡3 分後、1st レ フェリーがホイッスル

(合同の場合)

公式練習開始のホイッスルを 1st レフェリーが行う➡6 分後、1st レフェリーがホイッスル

公式練習中	ラインジャッジとミーティング	チームメンバーが記録用紙に記	チームメンバーが記録用紙に記
	審判台の確認	載された通りか確認	載された通りか確認
	スターティングメンバーの確認	*記録員とは別々で	*2nd レフェリーとは別々で
		チームより提出されたスターテ	チームより提出されたスターテ
		ィングメンバーが登録メンバー	ィングメンバーが登録メンバー
		かどうか確認	かどうか確認
			正しいメンバーであれば、記録用
		スターティングメンバーが記録	紙に記入。正しくなければチケッ
		用紙に記入されたか確認	トをチームに返し、訂正してもら
			う

公式練習	終了後、チームはエンドライン	′に速やかに整列。(チームがミ	ーティングをする時間はあ
りません。	審判員は速やかに並ばせる。)	lst レフェリーの吹笛でネッ	トをはさんで握手。
ラインアッ プチェック	1 7	スターティングの6人を速やかに コートに入れる。 必ず両チームを入れてからチェ ックしてください。 サービングチームから確認する 。 *記録員とは別々で	サービングチームから確認。 *2nd レフェリーとは別々で
	チームキャプテンがコートにいない場合はゲームキャプテンを確認する。	記録が合図を確認したらりベロの交代を許可する。 その後、レシービングチームの確認。 記録の合図を確認できたら、ボールをサーバーに送る。	確認できたら2nd レフェリーに 合図する。 その後、レシービングチームを 確認。 サーバーを確認して、準備がで
	2nd レフェリーが両手を上げるのを確認すれば、サービス許可の吹笛をする。 (試合開始)	記録が両手を上がったことを確認すれば、両手をあげて、Istレフェリーに合図を送る。	きたら2nd レフェリーに <u>両手を</u> 挙げて合図する。 サービス許可の時間を試合開始の欄に記入 (試合開始並びにIセット目の開始時間)

4. 試合中について

	lst レフェリー	2nd レフェリー	S·AS (記録)
基本の位置	基本的に、ボールがあるサイドに	基本的に lst レフェリーとは反	
の取り方	Ⅰ 歩身体を移動させてプレーを	対側、つまりボールがないサイド	
	確認する。	に立ち、プレーを確認する。	
		ブロッカーの手からセンターラ	
		インが視野に入る位置に立つ。	
		ラリー終了後は、負けたチーム側	
		に移動し、タイムアウトやサブス	
		ティテューションの要求がない	
サービス時	I サービス許可	かを確認する。 I サービス時の反則	サーバーを確認し、ロングサーブ
サービス時	1 リーピス計画 両チーム準備ができたこと	- パーピス時の反則 ・ポジショナルフォルト	の場合はサービスを打った瞬間
	を確認後		に 2nd レフェリーに伝える。
	C 1/E B/C 1/X	│ │ポジショナルフォルト確認後、サ	VEZITO DI TI VETAZIO
	 Ⅱ サービス時の反則	ービスボールが許容空間内を通	
	・8 秒ルール	過するか(2nd レフェリー側の	
	・サーバーのフットフォルト	アンテナ)を確認し、ブロックサ	
	・ポジショナルフォルト	イドに移動	
ロングサーフ	が起こった場合・・・		
-	フェリーはホイッスルをしてゲーム		、を確認。
_	(ッスルし、ポジショナルフォルト の		
	゚テンを呼び状況を説明し、次のサーバ	T.	かせる。
アタック時	一歩分の攻撃側に身体を移動し、		
	必ず制止してプレーを見る。	してプレーを見る。	
	 ☆見るポイント☆	 Ist レフェリー側での攻撃時	
	① アタッカーのタッチネット	は、サイドライン際に移動してプ	
	② キャッチ	レーを見る。	
	③ ボールコンタクト		
	④ オーバーネット	☆見るポイント☆	
	⑤ バックアタック時の	① タッチネット	
	アタックラインの踏み越し	② ペネトレーションフォルト	
		③ ボールコンタクト	
		④ バックアタック時の	
		アタックラインの踏み越し	
		ボール通過後もネット際に目を	
		ホール週週後もイット際に日を 残し、ネット際に選手がいなくな	
		ったらか ルを兄(人の)レートに備える。	
判定時	ホイッスルし、必要なラインジャ	パンケーキのケースは、落ちたこ	
	ッジ・2nd レフェリーを確認後、	とが確認できた場合、2nd レフ	
	最終判定を出す。	ェリーはホイッスルできる。	
	(焦らず確認してから判定する		
	こと)	2nd レフェリー側のマーカー、	
		あるいはポールにボールが当た	
		った場合は 2nd レフェリーがホ	
		イッスルする。	ļ ,

5. 試合中断の要求について

☆タイムアウト☆

	lst レフェリー	2nd レフェリー	S·AS(記録)
タイムアウ	2nd レフェリーが吹笛した場	監督またキャプテンのタイムア	タイムアウトを記録する。
トについて	合、吹笛もハンドシグナルも必要	ウト要求を確認すれば、ハンドシ	
	はない。	グナルを示しながらホイッスル	2nd レフェリーに以下のことを
	ただし、監督またはキャプテンの	する。	使える。
	要求に 2nd レフェリーが気づか	その後要求したチームを示し、計	・次のサーバー
	ない場合は吹笛をして、タイムア	時を始める。	・反対チームの次のサーバー
	ウトを許可する。		・タイムアウトの回数
			A S はリベロのイン・アウトを伝
		両チームをベンチに戻らせる。	える。
	両チームの動向をチェックす		
	る。	記録席に行き、次のサーバー、タ	
	部外者が入っていないか等	イムアウトの回数の確認。	
		│ │タイムアウトトが2回目であれ	
		ば、lst レフェリーに通告。(タ	
		イムアウト中)	
		30秒で吹笛をして、コートに入	
		れる。2回目の場合は監督に通告	
		ボールをサーバーに渡し、2nd	
	2nd レフェリーの合図を確認し	レフェリーの合図を確認したら、	サーバー、メンバーを確認して準
	て、サービス許可の吹笛	両手を挙げて、Ist レフェリー	備ができたら両手を挙げて 2nd
		に合図を送る。	レフェリーに合図を送る。

☆選手交代☆

N 医 了 入 I V I	<u>~</u>		
	lst レフェリー	2nd レフェリー	S・AS(記録)
Ⅰ 組の選手	得に何もしない	交代選手がサブスティテューシ	
交代の場合		ョンゾーンに入ったとき、ホイッ	
		スルしハンドシグナルを示す。	
		立ち位置は、サイドラインと記録	
		席の中間ぐらいの位置。	
		スコアラーの片手を挙げるのを	ナンバーを確認し正当な交代で
		確認し、手の合図で交代させる。	あれば、片手を上げる。
		スコアラーから両手が上がるの	選手交代の記録を完了したら、両
		を確認し、Ist レフェリーに両	手を上げる。
		手を挙げる	

☆選手交代(続き)☆

	(形CC) A		
2 組以上の	得に何もしない	交代選手がサブスティテューシ	
選手交代の		ョンゾーンに入ったとき、ホイッ	
場合		スルしハンドシグナルを示す。	
		Ⅰ 組目の選手交代を行っている	
		間、2 組目以降の交代選手を佐渡	
		ラインから離れた位置(記録席横	
		辺り)に待機させる。	ナンバーを確認し正当な交代で
			あれば、片手を上げる。
		スコアラーの片手を挙げるのを	
		確認し、手の合図で 組目を交	I 組目の選手交代の記録を完了
		代させる。	したら、両手を上げる。
		スコアラーから両手が上がるの	2 組目以降を動揺の手順で記録
		を確認し、2組目以降の選手交代	を完了し、両手を上げる。
		を行う。	
両チーム同	特に何もしない	交代選手がサブスティテューシ	
時に選手交		ョンゾーンに入ったとき、ホイッ	
代の要求が		スルしハンドシグナルを示す。	
あった場合			
		必ずどちらのチームから選手交	
		代を行うかを記録席に伝える。	
		スコアラーの片手を挙げるのを	ナンバーを確認し正当な交代で
		確認し、手の合図で交代させる。	あれば、片手を上げる。
		*性成し、すい口囚(文刊でとる。	は71ヶは、日子で下いる。
		スコアラーから両手が上がるの	選手交代の記録を完了したら、両
		を確認し、反対サイドに移動しホ	手を上げる。
		イッスルしながらハンドシグナ	
		ルを示す。	
			後の手順は同じ。
		後の手順は同じ。	
-	ı.	1	

6. セット終了について

	lst レフェリー	2nd レフェリー	S·AS(記録)
セット終了後	2nd レフェリーからの通告を確認し、セット終了のシグナルを示し、エンドラインに選手を整列させる。 コートチェンジをさせる。	スコアラーからの通告を確認し、 胸の前で腕をクロスし Ist レフェリーにセット終了を伝える。 セット間の計時を開始する。 (2分30秒)	スコアラーは、記録用紙のセットポイントの得点を消し、両腕を胸の前でクロスし、セット終了を2nd レフェリーに伝える。
	セット間の計時を開始する。 (2 分 30 秒)		

7. セット間~時セット開始について

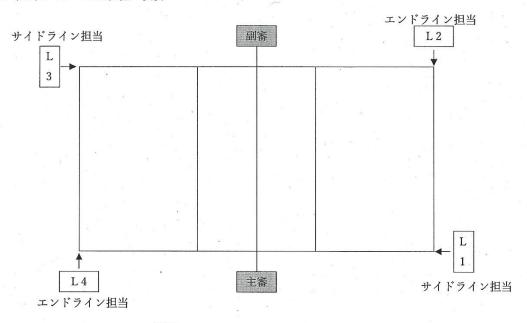
セット間	両チームの状況を確認する。	両チームからラインアップシー	セットの結果の集計・記入を行
		トを受け取り、登録メンバーか確	い、次のセットの必要事項を記入
		認してから記録に渡す。	する。
		計時開始から 2 分 30 秒後にホ	
		イッスルし、両チームをコートに	
		入れる。	
	後の手順は、第 セット開始と	後の手順は、第 セット開始と	後の手順は、第 セット開始と
	同様	同様	同様
試合終了	2nd レフェリーからの通告を確	スコアラーからの通告を確認し、	スコアラーは、記録用紙のセット
	認し、セット終了のシグナルを示	胸の前で腕をクロスし lst レフ	ポイントの得点を消し、両腕を胸
	し、エンドラインに選手を整列さ	ェリーにセット終了を伝える。	の前でクロスし、セット終了を
	せる。		2nd レフェリーに伝える。
			両チームキャプテンのサインを
	ゲーム終了をホイッスルする。		採り、記録用紙を完成させる。
		記録用紙が完成後、記録内容を可	完成後がサイン、その後スコアラ
	2nd レフェリーが確認した記録	確認しサインする。	ーもサインをし、2nd レフェリ
	用紙を、再度確認しサインする。		ー、Ist レフェリーに確認して
			もらう。

8. ラインジャッジについて

ラインジャッジについて

【レベル0 (基本徹底事項)】

1. 担当ライン・立ち位置・姿勢



・コートの各コーナーから2m離れ、ラインは身体の中央にして立つ。

≪構え方≫

- ・ラリー中、足は肩幅に開いて膝を軽く曲げ、フラッグは膝の裏に隠して構える。
- ・右手でフラッグを持つ場合、左足を半歩ほど前に出して構える。
- ・ボールを判定するときは、必ず低い姿勢でボールを見ること。
- ・ボールデッドの時は、気をつけの姿勢で待つ。フラッグは体側に持っておく。

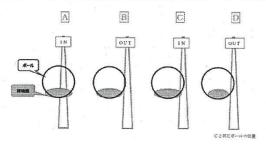
≪フラッグの持ち方・出し方≫

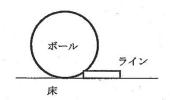
- ・フラッグの持ち手に人差し指を添えて握り、肘が曲がらないようまっすぐにフラッグを出す。
- ・構えた姿勢のまま左足を一歩前に出しながらフラッグシグナルを出した後、姿勢を正して必ず 主審を見る。
- ・主審がシグナルを出し始めるまで、フラッグは下げない。

2. フラッグシグナルについて

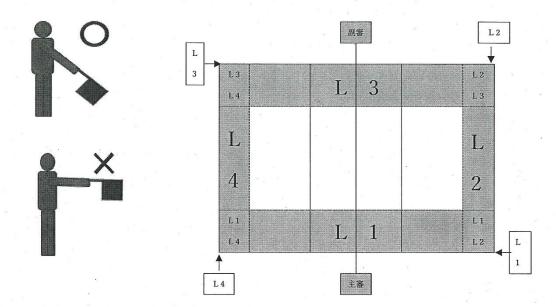
ボールイン

担当ラインから2m程度の範囲に落ちたボールを判定する。



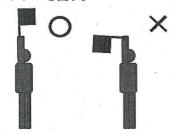


ボールイン~続き~



ボールアウト

担当ラインの外側(自分の左手側)に落ちた ボールについては、ボールが地面に着いた時点 でシグナルを出す。

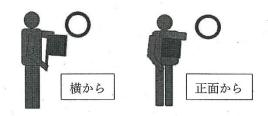


ラインクロス

サーバーがエンドラインを踏んでサーブを 打った時、またはサイドライン外側に足を 踏み出してサーブを打った時、フラッグを 持っていない手でラインを指さし、フラッグ を一往復する。主審が気づくまで、シグナルを保持。

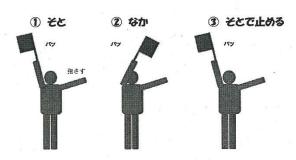
ボールコンタクト

選手がボールに触れて(ブロック・レシーブなど)、 コート外に出たボールが地面に着いた時点で、 シグナルを出す。(詳しくは、レベル1を参照)



マーカーに関する反則

アンテナ、アンテナ外ネット、支柱、審判台、 その他フリーゾーン内の物体にボールが触れ たことが確認できた時、フラッグを一往復。 (詳しくは、レベル2を参照)



【レベル1 (ワンタッチのシグナルを出すケース)】

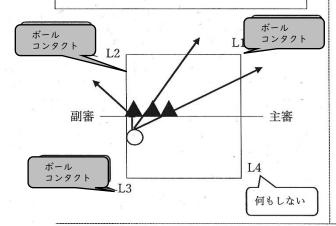
*自分の担当ラインに関係なくても、ワンタッチを出すケースがたくさんある!!

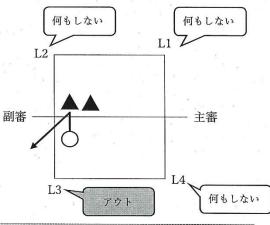
(○=アタッカー、▲=ブロッカー、●=レシーバー) レフト側から打ったスパイク・ボールが ブロックに触れて相手コートの外に出た場合

L3 は何もなしない)

*ライト側は逆(L4がワンタッチ

スパイク・ボールがブロックに触れて スパイク側サイドラインの外に出た場合 *ライト側は逆(L1 だけがアウト)





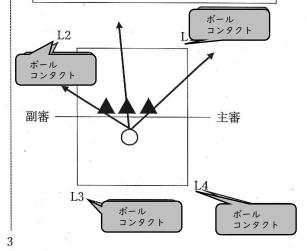
スパイク・ボールがレシーバーに触れて スパイク側サイドライン外に出た場合

コンタクト コンタクト L2 L1 副審 主審 何もしない コンタクト L3

スパイク・ボールがレシーバーに触れて、 エンドラインの外に出た場合

ボール コンタクト コンタクト 副審 主審 L4 L3-何もしない 何もしない

センターから打ったスパイク・ボールがブロ ックに触れて相手コートの外に出た場合 (クイック・バックアタックなど)



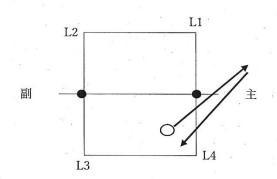
ボール

【レベル2 (アンテナの取戻しのケース)】

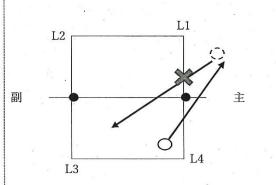
いわゆるアンテナの「外側」→「外側」のみ OK!!

ダメなケースはすべて旗を振る!!

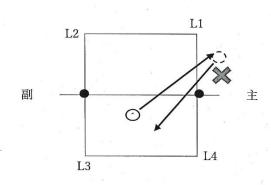
(○)「外側」→「外側」のケース



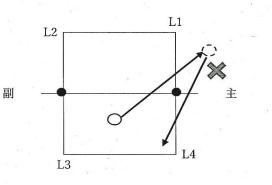
(×)「外側」→「内側」のケース



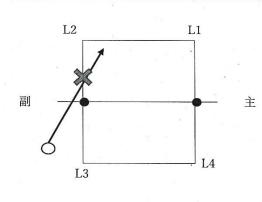
(×)「内側」→「内側」のケース



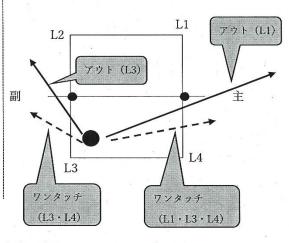
(×)「内側」→「外側」のケース



アンテナ外から相手コートにボールが入った場合



ワンタッチかアウトかのケース



【レベル3 (パンケーキの判定ケース)】

- ・コートの真ん中でも、ボールが落ちたかどうか主審が確認しにくいケース (いわゆる「パンケーキ」) の場合は、斜め前でパタパタと床をたたくようなシグナルを出す。p
- *ボールが落ちたコートのラインジャッジが出す。

4

9. 記録用紙の書き方について

6人制バレーボール 記録用紙の書き方

記録員は、試合中のサーバーの番号や得点を管理するとても重要な任務です。間違いのないようにしっかり練習して公式戦に臨んでください。

―試合前に行うこと―

□ 大会名、開催地、試合番号、開催日、試合設定時間、会場名、性別 (□に×をつける(図))、 対戦チーム名を記入する。・・・①

大会名	5 2 5 a		0,12	
開催地	試合番号	開催日年月	試合設定時間日	
会場名	男子	対戦カード AoB	対	AorB

- □ 審判名(主審・副審・スコ ; ―・アシスタントスコアラー・ラインジャッジ)、都道府県名を 記入する・・・②
- □ 競技者名 (キャプテンの番号は○で囲む/リベロは所定の欄に番号と名前) を記入する・・・③ (*中学・高校では、構成メンバー表を貼っていることが多い)
- □ 監督・キャプテンのサインをもらう。(監督は合同練習中に、キャプテンはコイントスの前がよい)

. . . (4)

	審	判員と	サイン	欄	
審判員	氏名	3	都道府県		サイン
主審					
副審					
記録員					
アシスタントスコアラー					
	1	= ^ -	ンャッジ	2	
	3	フィン:	ノマツン	4	
	А	チームキ	テャプテン	В	24

\bigcirc	±_4& (**					
至号 .	氏名	49	氏 名			
-		++				
			-			
-	-	++				
		++				
		yκp				
.						
テームキャプテン		チームキャプテン				
R#		28				

□ コイントス後、対戦チームの欄とエントリーのチーム名の横に A, B を記入する・・・⑤ (*スコアラーから見て左側のコートを選んだチームが A、右側が B となる)

大会名								
							31	
開催地	試合番号	開催日	-			試合設定時間		
会場名	男子	対戦カード	Aord	Я	- 1	対		AerB

- □ 第1セット、第2セット、最終結果欄のA、Bの横にそれぞれのチーム名を記入する・・・⑥
- \square 第1セット目の \square , \square に×をつける。(サーブを打つチームは \square に、レシーブをするチームは \square に)(余裕があれば、第2セット目にもつける)・・・⑦
- \square 第 1 セット、第 2 セットのレシーブチームの \square のサーバーの 1 回目のサーブ欄 \square に \times をつける。・・・⑧

一公式練習中—

- □ 競技者番号とエントリーされている番号が合っているかを確認する・・・⑨
- □ 提出されたラインナップシートのメンバーがエントリーメンバーに入っているかを確認後、スターティングメンバーを記入する(ラインナップシートの右下から反時計回り)・・・⑩

一試合中—

- □ スターティングでコートに入っているメンバーが正しいかを確認する。
 - ➡➡正しい場合は、副審に手を挙げて正しいことを伝える。・・・⑪
- □ 両コートのスターティング確認後、準備が整ったことを副審に両手を挙げて伝える。・・・①
- \square サーバーを確認後、サーブを打つチームの \square のサーバーの 1 回目のサーブ欄 \square の数字に \checkmark を記入する・・・ \square
- □ 第1セットの最初のサーブが打たれた時刻を第1セットの開始時刻欄に記入する・・・⑭
- □ 得点が入ったら、得点欄の数字を「/」で消す。(右上から左下)・・・⑮
 - サーブ権を持っているチームが得点をした場合➡得点欄の数字を「/」で消す。 サーブ権を持っていないチームが得点をとった場合➡
 - ① サーブ権を持っていたチームのその時の得点をサーブ欄口に記入する。
 - ② 得点を取ったチームの得点欄の数字を「/」で消す。
 - ③ 次のサーバーを確認後、サーバーのサーブ欄の数字に✔を記入する。
- □ 試合中は、⑤にある作業を繰り返す。
- □ タイムアウトがあれば、とったチームのタイムアウトの欄に得点を記入する・・・⑥
 (*左側:タイムアウトを取ったチームの得点、右側:相手チームの得点)
 2回目のタイムアウトは副審に伝える。
 副審は主審と監督に伝える。
- □ メンバーチェンジがあれば、交代選手の背番号の下に代わって入る選手の背番号を記入・・・⑪➡ その後、メンバーチェンジ時の得点を記入(左側:自チーム、右側:相手チーム)
- □ 一度出た選手がもう一度コートに戻るメンバーチェンジは、コートを出る選手の背番号に○を 記入する(5回目と6回目の交代は、副審に伝える)

<メンバーチェンジの手続き>

- ① 交代する2人の選手の背番号を確認できたら片手を挙げる。
- ② 背番号と得点を所定の欄に記入する。
- ③ 書き終えたら、両手を挙げる。

―セット終了時に行うこと―

- ©·胸の前で、腕をクロスさせてセット終了を副審に伝える。
- □ 終了時刻を記入し、サーブチェック欄の両チームの最終得点を○で囲む。・・・®
- □ セットの最終得点がレシーブチームの場合、次のサーバーのサーブチェック欄に最終得点を 記入し○で囲む。その際、数字に✔をつける必要はない。・・・
- □ 得点欄の残っている点数を「∑」で消す。・・・⑩

					開始		:	チ	-ム								得 点		B		1000		チー	-ム	終了	:		得 点
×		サー	ピス順		I		п		п	1	IV		v		VI	П	10 19 28 3 11 20 29 3	1	I	п	I	п	IV	-	v	VI	1	10 19 28 37 11 20 29 38
チー	スタ	ーティン	グプレーヤ	_													12 21 30			= "								12 21 30 39
<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>			番号	第													13 22 31	1							*			13 22 31 40 14 23 32 41
構成	選交	手代	交代時	1 1	:		i		:		:		:	2	:		14 23 32 4 15 24 33 4	-	:	:		:	:		:	:		15 24 33 42
			得点	ッ	:		:				:		:		:		16 25 34	-	:	:	-	: -	:		:	:		16 25 34 43
			108 50	18	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1 .		17 26 35 4 18 27 36		1 5	1 .	5 1	5	1	5	1 5	1	٩	17 26 35 44 18 27 36 45
++-	_r	3 M	2回目 6回	28	2	6	2	6	2	6	2	6	. 2	6	2 6	4	マイムアウト	1	2 6	2	6 2	6	2	6	2 6	2	6	タイムアウト
Ŧ	エック	スの ク欄	3回目 7回	28	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3 7		:	1	3 7	3	7 3	7	3	7	3 7	3	7	
			408 86	18	1	8	4	8	4	8	1	8	4	8	4 8		:	1	4 8	4	8 4	8	4	8	4 8	1	8	:

<余裕があれば・・・>

□ 最終結果欄に各チームのタイムアウトの回数、競技者交代の回数、勝の欄(勝ちチームに「1」、 負けチームに「0」)、得点、セットの所要時間(数字のみ)を記入する。0の場合は、「0」を記入。

(*競技者交代の数え方はスターティングメンバーが出て、もう一度戻った場合 2 回と数える) ・・・②

―最終セットの記入の注意事項―

- □ コイントス後、A コートに入ったチーム名を左側・B コートに入ったチーム名を右側に記入し、 ○に A・B(対戦チーム欄の A・B に合わせて)を記入する。・・・②
- □ スターティングメンバーを各チーム記入し、A に入ったチームのスターティングメンバーを 右端の欄にも記入する。・・・፡ ②
- □ コートチェンジ時に A サイドのチームがそれまでに取ったタイムアウトとメンバーチェンジを 右端の欄にも書き写す。 ②
- □ コートチェンジ時の A サイドのチームの得点をコート交代時の点数の〇に記入し、右端の欄の それまでの点数は「丄」で消す。・・・ 55

					開始	:	7	-4			0	1 22 占 [3 3)		7	-ム 納	1	:	得点		チーム	d	3	ートチェンジ	ジ時の得点		得点
T	# -	ビス順			I	I	ı	ш	IV	v	VI	1 2	1	п	ш	IV	v		VI	1 9 17 25		I	п	ш	IV	v	VI	1 9 17 2 2 10 18 2
<i>Ŧ</i>	スターティン	グブレー	+-		-							3 4 5								3 11 19 27					8			3 11 13 2
ム構		番号	8	第 3								6 7 8				155				4 12 20 28	L							4 12 20 2 5 13 21 2
nt	選手交代	交代	時	セッ	:	1		:	:	1:	:	9 10 11		; -			;			5 13 21 29 6 14 22 30	ーチ		.;	:		10	:	6 14 22 3
		得力	ď.	F	:			07	:	:		12 13			:	:	:		:	7 15 23 31 8 16 24 32	ン	:	:	:	:	:	:	7 15 23 3 8 16 24 3
		188 4	108		1	1	1	1 '		1 1	1	タイムアウト	1	11	1	1	1 1	1	1 .	タイムアウト	1	1 '	11	11	1	11	1	タイムアウト
サーチ	ービスの zック樹	2BB 5	san		2	5 2	5	.2	1	5 Z	5 2	:	2	2	5 2	5 2	3 2	,	2 3	. :		2 1	2	2	5 2	2	5 2	:
		эшн е	688		3	6 3	•	3 1	3	6 3	E 3	:	3	4 3	6 3	0 3	6 3	۰	3 1		1	3 6	3		6 3	6 3	6 3	

―試合終了後に行うこと―

 \Box 最終結果欄に各チームのタイムアウトの回数、競技者交代の回数、勝の欄(勝ちチームに「1」、 負けチームに「0」)、得点、セットの所要時間(数字のみ)を記入する。 \Box の場合は、「 \Box の を記入。

(*競技者交代の数え方はスターティングメンバーが出て、もう一度戻った場合 2回と数える)・・・®

- □ 最終結果欄に、全セットの合計・試合開始時間・試合終了時間・所要時間(試合開始から試合終了までの時間(=各セット所要時間+セット間の時間【(セット数-1)×3分】)・勝利チーム名・セットの結果を記入する。・・・②
- □ 必要事項をすべて記入後、スコアラ―がサインする(アシスタントがいれば、アシスタントから)
- □ 両チームのキャプテンサイン、副審、主審にサインをもらう。・・・28

	審	判員と	サイン	欄	
審判員	氏名	2	都道府県		サイン
主審	-				3
副審			1		
記録員					
アシスタントスコアラー				5	
	1	= 0	ジャッジ	2	
	3	יכוכן	ンヤツン	4	
	Α	チームニ	キャプテン	В	

∓ —1	L				A	1)(1	3)		i:		<i>F-L</i>
タイム アウト	選手 交代	B	得点	ā	t	ット(時	間)	得点	19	選手 交代	タイム アウト
	13				I	()				
					п	()		1		120000
					ш	()		-		
				le f	at	(.)	7			
試合院	引始時刻	J		試合終	7	時刻		試合	所要明	寺間	
	h	n	nin		۲	1	min		h		min

記録員のシグナル・注意事項

①セット開始・タイムアウト明け

・両手を副審に向かってあげる。(持っているペンは必ず置くこと)

②タイムアウトについて

- ・タイムアウトの間に、副審に次のサーバーを伝える。(両チームとも)
- ・2回目のタイムアウトの時は、タイムアウト2回目であることも伝える。 アシスタントスコアラーがいる場合、副審にリベロのイン・アウトを伝える。
- ・タイムアウト終了後、両チームコートに入ったことを確認し、副審に両手をあげる。

③メンバーチェンジについて

・コートから出る選手とコートに入る背番号を確認でき次第、片手をあげる。 (このシグナルは副審が確認後、下ろしてよい)

その後、記録用紙の点数に従ってメンバーチェンジ時の点数を記入。

記入完了後、両手を副審に挙げる。

・5回目と6回目のメンバーチェンジは副審に5回目・6回目であることを伝える。

④セット終了・試合終了について

・セット終了・試合終了ポイントが入ったのを確認後、両腕を胸の前でクロスさせる。

28					全	2		レーホ			美大美	-	0					SACRAGE PRACT		-	1			
	名古	屋市	-			試合	養号	15		作日 2018		4 A	10 E		試合設定時到		16:00				A.	V		
名	古屋	赤レイン	オーオ	-11		男子		X *	7 8	表テーム	(B)		青		対	t	ar.		(A)		ELEGISMIC.	本ハワーボー	ル協会	
	The state of the s	sta 16:00 9	A	赤	A.	排点	SQ.	3).	青	. 7	AT I	6:23	海岸	Г	276	騨			· 要求			(特記事項)		
サービス版	H	1 1 11	ш	y y	I VI	1/1/	PI	· II	I III	IV.	V	yi /	17			成年 朱	& Asti	test	スカア	-				
スキートゥッグプレーヤー	-	8 4	5	6 7	3	1/1/1	3	1	6	.11	2	0 1	/////	1	1 +	++	8	1 2	18:15					
45	_ -	-		2)	+	100	/2	,	4		- 1	1	11		8		A	2	19:14	-				
* *		: :		:14 :	1		7:	-	2:4			-		2	10	+	8	2	20:18	Arr.				-
	マー	<u> </u>		23 :	+:-	///		-	16:15		- 1	-1	AV	0			A	3	4:5	B)	膏	2-45	赤	
188188	1	44			18	1111	1	1 4	6	1 4 1	2 4	# 1			B	4-4-	A	3	19:20	64	我名	64	庆 :	
	-	5 5		15	18	2117		2	123	10	1 1		タイムアウト	-	+	+			:		5切 惠子 3破 泰子	(1)	花上 绘	
一ピスの 25世界第5	2	2.5	25					27	[83]	1 1 1	11	11						1	:		1940年 本子 1947年 お子	3		カチ
Sais 769	1	444				10:1		1	1	4 4 4	- 1 1	-	14:13	10		단	M	国際の記	別		体 粒子	4	小便 勤	
430,614,510					11	15:2	0	1:1:	1.1.	1		ш	21:23	A.C	3=		H ****				が思 きおり リロ 教子	5	杉本 しの	のぶ
	1.	BB 16:20 5	From fa	青	B	妈 4	87	4)	赤	7-	182	6:57	得点			逐刻	見とサイン				山口 友子	7	島田 度	it
	-			-		ا اعراض ام	7	-	I	I IV	v	VI /	WAY:	名:	門員	氏名	都府		サイン		ち川 和江 東山 久子	8	原川 久	
サービス等	-	i I i juliu.	1	V V		1/14			-	4	-	distribution of	M	1		多大 班	468	8500	K.Europa		第20 以子 第2 第子	70	生子 美	
28-912070-6-		12 1	with the same	11 2	8	1/1/1	M S		14	5	5	2		-							P# EN	18	F# £	
	年	3	(10)			112		and wanter.	1	134			7011	l m	塞	加神 選	#	#	小林 旌	15 8	3对 程手	- 1/2	大器石	Æ12.
	2 3	4:30 :	3:6	- 1 .:	2	121	5	27:8	1 :	8.5		١	14	1 32	7-9-	提并 瓜	3 1	W (F# 64	1				entropolog-
9 #	3	1 :	22:12	: 3	:	1222	23	27 15.1	<i>i</i> :	25:23		: 17		-	-	-		_				4 × 0		
12552700	-	2 3	1411	15	12	1/1	$\mathbb{I}X$	1	1,1	14	12	2 6	(ALL	0.7540	4417)-0	高本 泉	Ŕ	12	拉牛 莽		6日 发子 8月 孩子			
		7 7	25 3		11	247	51.	23	14	25	æl 1	11	タイムアウト	£	36\$ A	E 1	Koviženi		## ## ##	2002/10/20	dans it	-		40
COOKE GOVERN	P	TTT	HT		-	11:	3		11			11	16:18	14	127 .6		esosperie	4 4	the alar	Ep	CAN SER SER	Y .		
-8.9(38)	-	111	+++	++	+	24:	24		Ħ	11	TT	1		1	is 4	may at a	- A*+7+1	8 1	公司 拉手	1	医口 粉料	* 10	保证:	安基
	1	III 18:56		Jankson cees	B	an l	(A)			- 1	P 12 1.1	1 65) هسته	2	-5~-1-8-	5>D969	e (1:	2) #s/s			# 5 M #		
	ļ.		-	育	-	70.00		新		- 1		In	mark is	manana	1	202220000000000000000000000000000000000	y v		Characterial	House	The	AB	#	
*	L	IE	-	IA A	THE PERSON NAMED IN	3	2	, 10 m Fr - 1	-			W	# 1	4	***********	00000000000000000000000000000000000000				7-15 870 7-9- 1034	AF St.	8000 (36 BH)	95 B	18A
119-14:277:-4-	_	3 7	4	11 2	4	3	3	-		5 6	2	11/2	Mal	3	1		1 2	4	-112	2 2		1 (23)	23 0	2
84	3		10		1	121		- 14	9)	1		AN	AL.			10		4	22	1 6	0 20	II (27)	28 /	13
[用字] 1	セッ	1 7	2:3	: 1	1 :	**********	-	1 4	. 5	: :	- 3	M	412[:	:	313	: 2	1		1 2	1 1	S (20)		-
8.4	1	1 1	,	: :	7 -	15	:	: 75	20		:		23 X	-	:	:		-		4 16		# (20)	1	7
10014010	ľ	X 121	18 1		Tee!	544,765	0	3 6		1/1	14	9947		11	9				944595	SC-OFFERNIS		STEAN A	Lestin	·
	1	111	111		TT	7:8	13	10 15	1	139	4	.17	9	41	6	20 81	132	1	7.9			I to Kill and		16
222 CAR (120 CAR)	į.	1111	4-4-4-	4-4-		-		المارينيات	damain.	-		1		injung.		-		-	21:02	hammonen	7	赤	www.committis.tt	\$: